

経鼻内視鏡の前処置法 Ver. 5.0

医療法人社団 出雲中央クリニック 院長 宮脇哲丸先生 監修

準備する 薬品と器具



1 検査開始15分前

- ガスコン®ドロップあるいはバルギン®
- プロナーゼ®あるいはガスチーム®… 20,000単位
- 炭酸水素ナトリウム(重曹)… 1g
- 微温湯



2 検査開始10分前

- プリビナ®液0.05%
- 左右の鼻腔に噴霧する。



3 検査開始5分前

- キシロカイン®ビスカス2%… 4ml
- スコープを通す側の鼻腔にゆっくりと注入する。咽頭に達したら飲み込んでもらう。



4

- キシロカイン®ゼリー 2%
- キシロカイン®ポンプスプレー 8%
- 14Fr・16Fr
経鼻的内視鏡用前処置スティック



14Frの経鼻的内視鏡用前処置スティックにキシロカイン®ゼリー2%を薄く塗布し、キシロカイン®ポンプスプレー8%を2~3回噴霧する。16Frのスティックにも同様の処理を行う。

経鼻内視鏡では、鼻腔の痛みを完全に抑えることが最も大切です。

経鼻内視鏡の前処置法

1 検査開始15分前

ガスコン®ドロップ+プロナーゼ®+炭酸水素ナトリウム(重曹)を微温湯に溶かしたものを飲用してもらう。



2 検査開始10分前

血管収縮剤のプリピナ®液0.05%を左右の鼻腔に2~3回噴霧する。



3 検査側鼻腔決定

空気の通りの良い方の鼻腔を決めてもらう。
通りの良い方にスコープを挿入する。



4 検査開始5分前

キシロカイン®ビスカス2%を、スコープを通す側の鼻腔にゆっくりと注入する。
咽頭に達したら飲み込んでもらう。



5 経鼻的内視鏡用前処置 スティックの準備①

有効長9cm、14Fr・16Frのスティックにキシロカイン®ゼリー2%をスティック全体に薄く塗布する。



6 経鼻的内視鏡用前処置 スティックの準備②

キシロカイン®ポンプスプレー8%をスティック全体に2~3回噴霧する。



スティックに噴霧することでアルコールは揮発するため、被検者の鼻腔に刺激を与えることはない。



7 検査開始4分前 スティック挿入

⑤⑥で処理された14Frのスティックを、内視鏡を挿入する鼻腔に挿入する。



※スティックの挿入角度に注意する。

8 検査開始3分前 スティック交換

同様の処理をされた16Frのスティックを同側の鼻腔に挿入する。



16Frのスティックは内視鏡とほぼ同じ太さであり、あらかじめ内視鏡の通過が良いか、鼻痛がないかどうかの確認ができる。また、内視鏡挿入の擬似体験にもなる。



▶ 抗コリン剤などの鎮痙剤および鎮静剤、鎮痛剤は使用しない。

▶ 前処置直前まで、水・お茶・スポーツドリンクなどの飲み物を積極的に飲んでもらう。

▶ スティック挿入後、唾液は飲み込まずティッシュなどに出してもらう。